

**京都大学教育研究振興財団助成事業  
成 果 報 告 書**

平成 23 年 4 月 22 日

財団法人京都大学教育研究振興財団  
会 長 辻 井 昭 雄 様

京 都 大 学 総 長

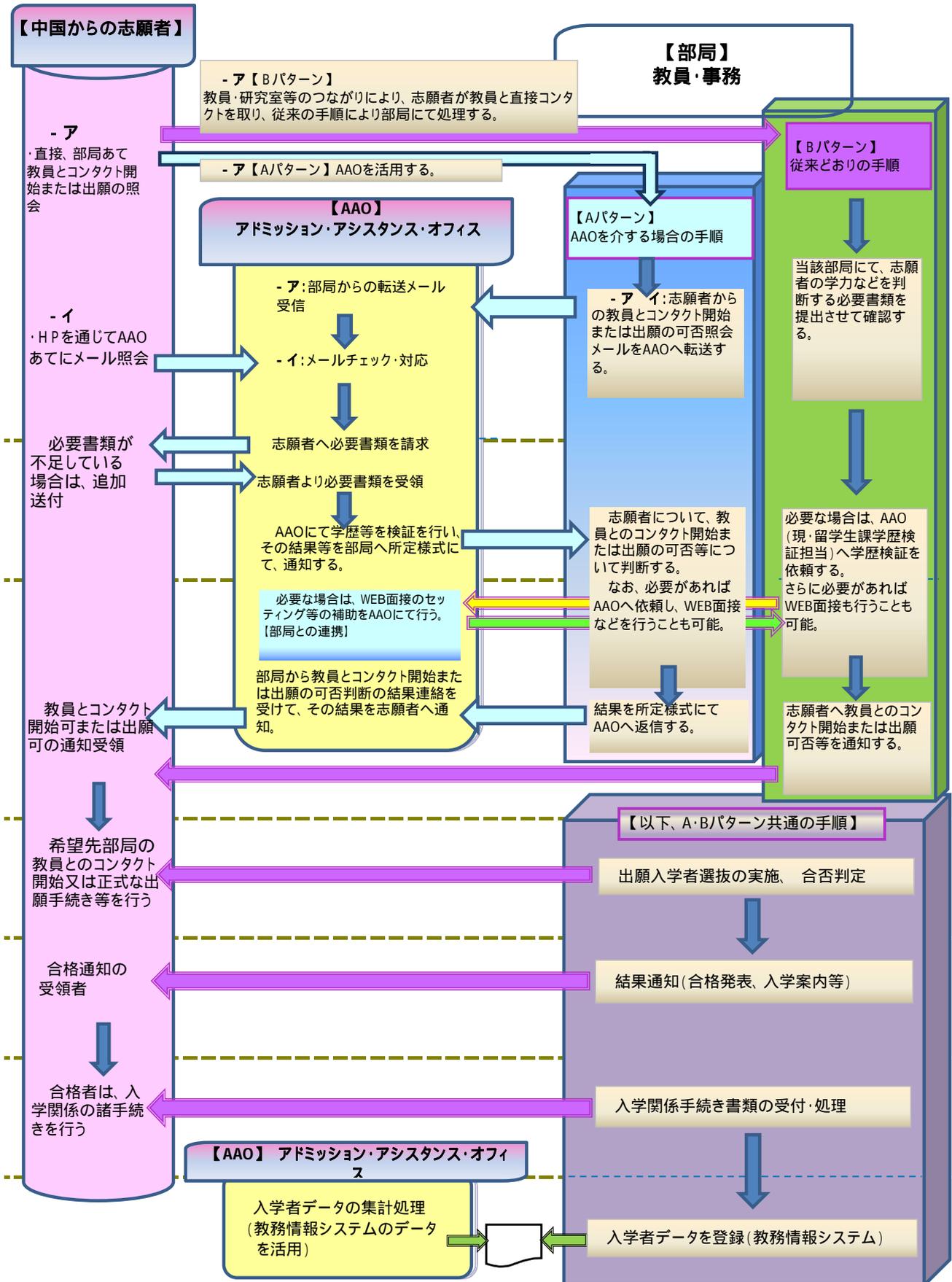
松 本 紘

事 業 区 分	平成 22 年度・大学全体計画事業助成		
事 業 名	中国重点大学におけるアドバイザー制度の推進 (在外京都大学留学・広報アドバイザー制度)		
成 果 の 概 要	「成果の概要」以外に添付する資料 無 有 (中国での留学説明会まとめ、AAO概要図、スプリングスクールポスター写し)		
会 計 報 告	事業に要した経費総額	1,268,386円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称) 京都大学 大学運営費	
	経 費 の 内 訳 と 助 成 金 の 使 途 に つ い て		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	招へい旅費(外国出張)	665,250	665,250
	印刷費(部分)	334,750	334,750
	懇談会費	11,025	0
	EMS通信費	24,041	0
	印刷費	18,050	0
外国出張旅費(プログラム打合せ他)	215,270	0	
合 計	1,268,386	1,000,000	

留学説明会・留学フェア H22年度実績(予定を含む)

部局名	済み または 予定	開催・参加イベント名称	時期(年/月)	年度	開催地 (国/地域・都市名)	イベントの主催 (団体など)の名称	参加人数 (about)	
国際部/ 国際交流センター	1	済み	国立清華大学における留学説明会	2010年4月	平成22年度	台湾/新竹	国立清華大学・京都大学	30人
	2	済み	国立台湾大学における留学説明会	2010年4月	平成22年度	台湾/台北	国立台湾大学・京都大学	30人
	3	済み	上海万博「京都ウィーク」留学説明会	2010年10月	平成22年度	中国/上海	京都市	200人
	4	済み	中国科学技術大学における留学説明会	2010年9月	平成22年度	中国/合肥	中国科技大学・京都大学	150人
	5	済み	復旦大学における留学説明会	2010年12月	平成22年度	中国/上海	復旦大学・京都大学	30人
	6	済み	上海交通大学における留学説明会	2010年12月	平成22年度	中国/上海	上海交通大学・京都大学	40人
	7	済み	南京大学における留学説明会	2010年12月	平成22年度	中国/南京	南京大学・京都大学	100人
	8	済み	浙江大学における留学説明会	2010年12月	平成22年度	中国/杭州	浙江大学・京都大学	40人
	9	済み	北京師範大学における留学説明会	2011年3月	平成22年度	中国/北京	北京師範大学・京都大学	50人
	10	済み	清華大学における留学説明会	2011年3月	平成22年度	中国/北京	清華大学・京都大学	10人
	11	済み	北京大学における留学説明会	2011年3月	平成22年度	中国/北京	北京大学・京都大学	60人
	12	済み	武漢大学における留学説明会	2011年3月	平成22年度	中国/武漢	武漢大学・京都大学	60人
	13	済み	華中科技大学における留学説明会	2011年3月	平成22年度	中国/武漢	華中科技大学・京都大学	120人
合計(H23年3月末現在)							920人	

HP・留学フェア等にて、AAOへの照会方法を周知(学外)  
 部局・教務を通して教員にAAO設置の周知(学内)





## 成果の概要 / 京都大学総長 松本 紘

### 中国重点大学におけるアドバイザー制度の推進 (在外京都大学留学・広報アドバイザー制度)

#### 平成22年度(貴財団からの支援による実施成果報告)

本制度による事業において中心的役割を果たす在外京都大学留学・広報アドバイザー5名を、平成23年3月13日～3月17日の間に本学に招聘して会議を開催した。その中で本年度の活動報告・総括、今後の交流施策等の方針などについて意見・情報交換を行った。

本年度の成果として、まず、同アドバイザーによる中国の重点大学間での情報共有と、留学生の派遣・受入施策の協力、各大学での説明会の開催における連携協力と交流の強化、個別相談とアドバイス等の充実などが挙げられる。

平成22年度5月現在、中国からの留学生数は614人であり、昨年度の565人から8.3%増となっている。もちろんこれは昨年度のアドバイザー制度で重点的に取り組んだ活動の成果の一つであり、本年度に取り組んだ説明会等の活動成果については、次年度へと繋がれていくものである。

さらに、中国国家留学基金管理委員会による「国家建設高水平大学公派研究生」(以下「高水平」という)の優秀な留学生受け入れ数も増加しており、京都市とも協力して実施した、上海万博の開催に合わせた中国上海での合同説明会への参加なども挙げられる。

他方、昨年度に浙江大学において開催した「京都大学の日」と同様の企画(特別交流・学生誘致のための説明会等の実施による京大紹介)の開催を本年度も計画し、平成22年10月頃に復旦大学と協力して開催する予定を立て、既に準備を進めていたところであったが、その頃、日本と中国間における尖閣諸島問題に端を発した予期せぬ問題が発生し、日本排斥デモなどによる中国国内の情勢不安がおこり、治安状況の悪化によるリスクを回避するため、今年度はやむなく中止せざるを得ないという事態も生じた。

次に、学内における中国からの優秀な留学生受け入れ選考のため、より効果的なシステム構築の成果として、アドミッション アシスタンス オフィス(Admissions Assistance Office: 以下「AAO」という)の設置が挙げられる。

これは、従前からアドバイザー会議においても、中国の大学卒業資格にかかる学歴詐称に対する検証として懸案となっていた事項でもあり、それに対応すべく検討し考案された仕組みである。

具体的には、中国から日本の大学へ入学志願をする際に、中国国内等で出願斡旋ブローカーを利用して、本人の学歴証明書(卒業証書や学位証書)の偽造や、研究計画書の身代わり作成などの行為に対して、中国政府の関係機関による学歴確認用のWebサイトを活用し、本学への申請者本人の学歴に虚偽が無いかどうか等の検証を行い、学内関係部局へより適切な判断材料を提供するものである。

この制度の導入により、各部局での選考時の判断材料として活用できると共に、AAOにおいてWeb面接による志願者本人の確認の支援システム導入、在学・卒業大学のランキングも参考情報として付加することにより、さらに優秀な留学生を確実

に選考することに貢献できるようになった。

また、本学において、中国の志願者からの事前照会窓口を AAO に統一することにより、各部局における教員のメール対応等の時間を省力化でき、研究時間の確保に充てていただくべく協力している。

さらに、海外での留学説明会の会場や HP 等を通じて中国志願者への周知を行い、これまで、教員あての大量メールに埋もれがちであった、中国政府の認定校（985 プロジェクト、211 プロジェクト）等からの、優秀な学生の受入照会・対応システムにおいても、重要な役割を果たしている。

三点目の成果として挙げられる点は、中国重点大学で学生交流協定を締結している浙江大学の留学・広報アドバイザーと、本学プログラムオフィサーとの連携協力により、本学学生を約 2 週間の短期で派遣するプログラム（2011 浙江大學スプリングスクール、学費免除）を開発することができた事である。

この短期交流型プログラムは本学学生 10 名を募集のうえ、平成 23 年 3 月 6 日（日）～ 20 日（日）間に現地の浙江大學へ派遣し、浙江大學の特別プログラムに沿って、中国語学習、講座受講、日中學生交流、フィールドワークの体験型学習等を行うものであり、実際には、募集人員を上回る応募者について、12 名の学生を派遣することができた。

このプログラムは今後の学生双方向交流のあり方においても、多様な形での交流を計画における試金石ともなる試行的なモデルプランでもあり、本学と海外大学において、これからも様々なプログラムが、いろいろな国と協力しながら展開されることにも繋がっていく。

最後に、貴財団のご支援と助成を受けて実施している、在外京都大學留学・広報アドバイザー会議での検討・計画事項を基にした種々の施策の実行により、中国政府による高水平制度などの優秀な留学生等の受入増加傾向も含めて、本学全体の国際化における貢献はもとより、留学生を受け入れている研究室等においては、熱心に研究に打ち込む留学生の姿勢が日本人学生への刺激ともなり、更に外国語等による意思疎通をする環境、日常生活における研究・教育・文化的レベルでの交流、本学学生の海外留学への関心の高まりへの影響など、様々な場面でグローバルな観点の涵養が必然的に行われる環境が、着実に増加しつつある。

これら留学生の受入・派遣に関しては、学内での様々な相乗効果により、本学におけるキャンパス国際化、海外大学との学術・学生交流の推進、高度教育の実践による人材育成等にも貢献している。このことは、将来に向けて本学の貴重な人的財産の形成と共に、社会的な貢献を果たすことにも繋がる。

なお、これらの成果をベースに、今後においても世界的なグローバル化の流れの中で、本学の更なる国際化推進、海外大学との連携協力、各面で活躍できる人材の育成、本学卒業生等を統括したネットワークの構築など、多方面での施策の協力と展開が期待される。

以上

飲湖上初晴後雨  
蘇東坡  
水光瀲灩晴方好  
山色空蒙雨亦奇  
欲把西湖比西子  
淡妝濃抹總相宜

## 2011年浙江大学スプリングスクール開催のご案内（学費免除）

—京都大学学生交流協定による交換留学プログラム—

### 【日程】

- 3月6日（日）浙江大学到着、歓迎会
- 3月7日（月）オリエンテーションと中国語能力テスト、キャンパス見学
- 3月8日（火）- 19日（土）中国語学習、講座、日中学生交流、フィールドワーク
- 3月19日（土）送別会
- 3月20日（日）帰国

### 【詳細】

- 募集人数：10名
- 募集対象：京都大学在学学生（院生を含む）
- 宿泊先：浙江大学玉泉校区国際教育学院留学生楼（寮）
- 費用：学費免除 その他費用は学生自己負担
- 杭州滞在中に各自にかかる諸費用：
  - 宿泊費：シングルルーム1日70元、70元×14日=980元
  - 食事代：1日約50元（大学食堂の場合）50元×14日=700元
  - 教科書代：150元
- 航空チケット代：約6万円（関空⇄杭州、全日空NH951、NH952の場合）
- 合計：約8万円

### 【申込み】

- 申請書提出先：国際部留学生課教育支援グループ  
岡田友紀恵 075-753-2543
- 締め切り：2010年12月28日（火）ただし先着順に採用内定とし、定員に達した時点で締め切ります。
- 本件照会先：国際交流センター 韓立友  
liyoun.han@kx8.ecs.kyoto-u.ac.jp

### 【備考】

- 中国語の学習は、学生の中国語力に応じてクラス分けを行い、原則平日の午前中に行う。場合によっては午後になることもある。
- 杭州萧山空港への送迎は無料
- 本プログラムに参加しても、京都大学の単位を取れるわけではありません。
- 1元 = 約13円（2010年10月現在）

2010年11月30日（火）に説明会をします。

場所：国際交流センター多目的ホール

時間：12:10 - 12:50

